

平成28年（2016年）熊本県熊本地方を震源とする地震
非常災害対策本部会議（第9回）

議 事 次 第

日時：平成28年4月18日（月）16：30～
場所：官邸4階大会議室

1. 安倍内閣総理大臣 挨拶
2. 被害状況及び各省庁の対応状況について
3. その他

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

熊本県熊本地方を震源とする地震について

平成 28 年 4 月 18 日 (16:10) 現在
非 常 災 害 対 策 本 部

1. 地震の概要

- (1) 発生日時 平成28年4月16日 1:25 (本震)
- (2) 震源及び規模 (暫定値)
熊本県熊本地方 (北緯32度45.2分、東経130度45.7分)
深さ12km、マグニチュード7.3
- (3) 震度
【14日21:26以降に発生した震度6弱以上の地震】 (気象庁18日14:00)
- ・ 14日 21:26 震度7 熊本県熊本
 - ・ 14日 22:07 震度6弱 熊本県熊本
 - ・ 15日 0:03 震度6強 熊本県熊本
 - ・ 16日 1:25 震度6強 熊本県熊本
 - ・ 16日 1:46 震度6弱 熊本県熊本
 - ・ 16日 3:55 震度6強 熊本県阿蘇
 - ・ 16日 9:48 震度6弱 熊本県熊本

【震度4以上の地震の発生推移】 (気象庁18日14:00)

14日	21時～24時	12回
15日	0時～24時	12回
16日	0時～24時	45回
17日	0時～24時	11回
18日	0時～ 3時	0回
	3時～ 6時	2回
	6時～ 9時	1回
	9時～12時	0回
	12時～14時	0回

※18日14時現在、震度1以上を観測する地震が537回発生。

2. 九州地方の気象状況

【熊本県内の降水量】

24時間降水量 (17日6:30)

益城	24.5 ミリ
南阿蘇	32.5 ミリ

【九州北部地方の今後の見通し】

- ・ 19日は、晴れる見込み。
- ・ 地震で揺れの大きかったところでは、地盤が緩んでいる可能性があり、土砂災害が起こるおそれがあるので留意。

【16日～17日夜間における雨の土砂災害の有無の確認結果】

大分県、福岡県、宮崎県、熊本県 なし（消防庁 17日 5:45）

3. 政府の対応

(14日)

- ・ 21:31 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 21:36 総理指示発出
- ・ 21:55 緊急参集チーム協議
- ・ 22:10 非常災害対策本部設置
- ・ 22:13 官房長官会見
- ・ 23:21 第1回非常災害対策本部会議
- ・ 23:25 内閣府情報先遣チーム出発
- ・ 23:55 官房長官会見

(15日)

- ・ 05:59 緊急参集チーム協議
- ・ 07:40 官房長官会見
- ・ 08:08 第2回非常災害対策本部会議
- ・ 10:06 官房長官会見
- ・ 10:40 非常災害現地対策本部設置
- ・ 16:07 第3回非常災害対策本部会議
- ・ 16:49 官房長官会見

(16日)

- ・ 2:38 総理指示発出
- ・ 2:38 緊急参集チーム協議
- ・ 3:28 官房長官会見
- ・ 5:10 第4回非常災害対策本部会議
- ・ 5:52 官房長官会見
- ・ 10:00 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- ・ 11:30 第5回非常災害対策本部会議
- ・ 12:13 官房長官会見
- ・ 18:30 第6回非常災害対策本部会議
- ・ 19:28 官房長官会見

(17日)

- ・ 10:58 緊急参集チーム協議

- ・ 11:37 第7回非常災害対策本部会議
- ・ 12:34 官房長官会見
- ・ 16:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- ・ 17:00 被災者生活支援チーム会合
- ・ 17:59 緊急参集チーム協議
- ・ 18:33 第8回非常災害対策本部会議
- ・ 19:19 官房長官会見

(18日)

- ・ 11:24 官房長官会見
- ・ 15:59 緊急参集チーム協議
- ・ 16:30 第9回非常災害対策本部会議（予定）

4. 被害状況（未確認情報を含む）

(1) 人的被害（4月15日からの累計）（警察庁・消防庁等 18日 15:00）

（人）

場 所	死亡	重傷	軽傷
福岡県	0	1	16
佐賀県	0	4	9
熊本県	42	201	838
大分県	0	4	20
宮崎県	0	2	6
合計	42	212	889

※ 捜索・救助活動中（南阿蘇村、益城町）

南阿蘇村での活動状況（18日 15時 00分）

警察：約 1,400 人、消防：約 600 人、自衛隊：約 1,500 人

(2) 建物被害（消防庁 17日 9:30）（厚生労働省 18日 12:00）

【熊本県】

家屋倒壊多数

- ・ 熊本市民病院：倒壊リスクあり（全ての患者は搬送済み）
- ・ 熊本セントラル病院：スプリンクラーによる水浸し（全ての患者は搬送済み）
- ・ 東熊本病院：病院のライフライン途絶（全ての患者は搬送済み）
- ・ 西村病院：病院損壊（全ての患者は搬送済み）
- ・ 高齢者施設（全 1,234 施設）：人的被害は 13 件 23 名（人命にかかる被害はなく、外傷・転倒・骨折等）。物的被害 287 施設。
- ・ 障害児・者入所施設、熊本労災特別介護施設等：人的被害なし。
- ・ 児童福祉施設等（全 30 施設）：人的被害なし。物的被害は 13 施設

- ・宇土市役所庁舎に傾き

【大分県】

住家：半壊3棟、一部破損14棟、破損程度不明1棟

非住家：半壊以上12棟

【福岡県】

一部破損219棟、非住家半壊以上1棟

【宮崎県】

半壊1棟、一部破損13棟

(3) 道路その他被害

● 崩落等状況（警察庁、国土交通省）

- ・ 俵山トンネル覆工コンクリート崩落
- ・ 阿蘇大橋（国道325号線）が崩壊

● 道路の通行止め

【高速自動車道】（3路線）（国土交通省18日12:00）

- ・ 九州自動車道（植木IC～八代IC）：御船IC～松橋IC間の緑川PA付近で跨道橋が落橋、益城熊本空港IC～松橋IC法面崩壊や橋梁部ジョイントの段差
- ・ 大分・東九州自動車道（玖珠IC～別府IC）：湯布院IC～日出JCT土砂崩落（速見IC・JCT～日出JCT）
- ・ 九州中央自動車道（嘉島JCT～小池高山IC）

【国道】（国土交通省18日12:00）

- ・ 直轄国道通行止め：2区間
国道57号81K 全面通行止め（土砂崩落等）
国道210号51K～64K 全面通行止め（落石の恐れ）
- ・ 補助国道通行止め 16区間

【その他】

- ・ 都道府県道通行止め 100区間（国土交通省18日12:00）
- ・ 全般的に有明、宇土市から阿蘇市にかけて被害（内閣府）

● 鉄道（国土交通省18日13:20）

【新幹線】

- ・ 九州新幹線全線運転休止

【在来線】

- ・ 運転休止：5事業者12路線
JR九州 4路線
熊本市 5路線
肥薩おれんじ鉄道 1路線
熊本電気鉄道 1路線
南阿蘇鉄道 1路線

- 空港（国土交通省 18 日 13:00）
 - ・ 通常運用（大分、福岡、北九州、佐賀、長崎）
 - ・ 熊本空港：民間機全便欠航（救援業務などに従事する航空機を中心に 24 時間利用可能）
- 河川（国土交通省 18 日 13:00）
 - ・ 被害箇所：直轄 138 箇所、補助 85 箇所
- 港湾（国土交通省 18 日 13:00）
 - ・ 被害箇所：一部液状化等（八代港、別府港）

(4) 避難状況

- 避難指示（18 日 12:00）

◆熊本県

市町村	対象世数	対象人数	発令日時	解除日時
宇土市	72	99	4 月 18 日 10:00	
西原村	40	120	4 月 16 日 15:39	4 月 17 日 17:13
南阿蘇村	994	2,503	4 月 16 日 16:15	
小計（発令中）	1,066	2,602		

- 避難勧告（18 日 12:00）

◆熊本県

市町村	対象世数	対象人数	発令日時	解除日時
熊本市	2,012	4,429	4 月 16 日 22:15	4 月 17 日 16:00
八代市	10,905	25,433	4 月 16 日 17:01	4 月 17 日 11:00
菊池市	17,300	49,000	4 月 16 日 1:36	
宇土市	14,000	38,000	4 月 16 日 21:40	4 月 17 日 6:20
宇城市	9,500	24,500	4 月 16 日 16:00	4 月 17 日 8:00
阿蘇市	2,452	6,597	4 月 16 日 19:15	4 月 17 日 15:00
美里町	4,262	10,752	4 月 16 日 16:00	4 月 17 日 13:45
	76	229	4 月 17 日 13:45	
大津町	13,531	34,090	4 月 16 日 3:55	
南小国町	1,772	4,271	4 月 16 日 17:00	4 月 17 日 11:20

小国町	3,083	7,477	4月16日 17:00	4月17日 6:43
産山村	627	1,584	4月16日 13:00	4月18日 12:00
高森町	2,866	6,743	4月16日 19:00	
西原村	148	385	4月16日 10:19	4月17日 17:13
御船町	7,133	17,681	4月16日 22:00	
甲佐町	4,299	11,028	4月16日 16:55	
小計(発令中)	45,205	118,771		

◆大分県

市町村	対象世数	対象人数	発令日時	解除日時
中津市	8	13	4月16日 17:30	4月18日 7:00
小計(発令中)	0	0		

● 避難所の状況(消防庁 18日 14:45)

【熊本県】

- ・ 638 箇所、避難者数 : 104,900 人 (18日 9:00)
- ・ 屋外避難者なし

【大分県】

- ・ 242 箇所、842 人 (18日 10:50)
- ・ 屋外避難者なし

【福岡県】

- ・ 27 箇所、120 人 (18日 9:00)
- ・ 屋外避難者なし

【宮崎県】

- ・ 2 箇所 38 人 (18日 7:00)
- ・ 屋外避難者なし

【長崎県】

- ・ 21 箇所、295 人 (18日 10:00)
- ・ 屋外避難者なし

(5) 物資・生活支援(内閣府 16日 12:00)

● 熊本県から物資の支援要請

- ・ 毛布 75,000 枚、簡易トイレ 6,000 個、おむつ等については要請数を運搬手配済み。食料、水等については手配中。
- ・ 飲料・水・毛布などの物資の調達及び被災地への供給について 8 号館に關係省庁が

集まり、一元的な調整を行っている。調達物資については、日本通運の鳥栖流通センター（佐賀県鳥栖市）に搬入した後、各市町村に直接供給されることとなっている。
(16日 17:00)

● 物資の調達状況等（内閣府 17日 6:45）

【プル型支援物資（※）の調達状況】（※）熊本県から要請のあった物資

（搬入先：日本通運 鳥栖流通センター（佐賀県鳥栖市））

（上記に加え、福岡市中央卸売市場青果市場跡地 1,000 m²の倉庫を確保。また、ヤマト運輸が福岡県粕屋郡粕谷町の流通センターを確保。）

- ・ 食料 11.5 万食【農林水産省】
搬入状況：11.3 万食
- ・ 水 14 万本（2 L／本）、1.5 万本（500ml／本）【農林水産省】
搬入状況：（2 L／本）17 日中 6 万本、18 日中 6 万本
- ・ 紙おむつ 2 万枚（乳児用）、2 万枚（大人用）【厚生労働省】
搬入状況：全て搬入済み
- ・ 生理用品 2.6 万枚【厚生労働省】
搬入状況：全て搬入済み
- ・ 簡易トイレ・便袋 3 万個【経済産業省・消防庁】
搬入状況：（トイレ）17 日中 6 千個、18 日中 1,250 個
（便袋）2 万個搬入済み
- ・ トイレットペーパー 2.2 万個【経済産業省】
搬入状況：2 万個（残りも 18 日中に全て搬入見込み）
- ・ 毛布 7.6 万枚【消防庁】
搬入状況：搬入済み

【プッシュ型支援物資（※）の調達状況】

（※）避難者数（約 10 万人）から想定し、不足が見込まれる物資（3 日分想定）

（搬入先：17 日以降、熊本県が開設予定の物流拠点（3 箇所）に搬入開始）

- ・ 食料 90 万食【農林水産省】
搬入状況：17 日中 15 万食、18 日中 33 万食、19 日中 33 万食
- ・ 水 7 万本（500ml／本）【農林水産省】
搬入状況：全て 17 日中に搬入見込み
- ・ 粉ミルク 約 1 トン（約 1,700 缶）【農林水産省】
搬入状況：全て 17 日中に搬入済み
- ・ 紙おむつ 4 万枚（乳児用）【厚生労働省】
搬入状況：全て 17 日中に搬入見込み
- ・ 便袋 17 万個【経済産業省】
搬入状況：17 日中 8 万個（残りも全て 18 日中に搬入見込み）
- ・ トイレットペーパー 1.9 万個【経済産業省】
搬入状況：全て 18 日中に搬入見込み
- ・ 毛布 1.5 万枚【消防庁】
搬入状況：18 日中に全て搬入済み

(6) 原子力発電所の状況 (原子力規制庁 18日 14:45)

発電所名 (電力会社)	立地市町村	状況	立地市町村最大震度 (日時)
玄海 (九州)	佐賀県玄海町	異常なし	3 (16日 1:26)
川内 (九州)	鹿児島県薩摩川内市	異常なし	4 (16日 1:26)
伊方 (四国)	愛媛県伊方町	異常なし	4 (16日 1:26)
島根 (中国)	島根県松江市	異常なし	3 (16日 1:26)

(7) ライフライン等の状況

● 電力 (経済産業省 18日 15:00)

- ・ 九州電力: 熊本県で約 2 万 6,000 戸が停電 (18日 15:00)
- ・ 中国電力: 解消済み (17日 18:19)
- ・ 四国電力: 約 20 戸が停電 (18日 13:00)
- ・ 電源開発: 被害情報なし。

● ガス (経済産業省) (経済産業省 18日 13:00)

【都市ガス】

- ・ 18日 13:00 西部ガス熊本市周辺 10 万 5000 戸の供給停止

【LPガス】

LPガス充填所: 熊本石油の 2 か所中、宇土充填所: 可能、西区充填センター18日の再開を検討

● 石油 (コンビナート・SS) (経済産業省 18日 14:00)

- ・ 熊本県 全 SS (計 797) : 現時点で 589 箇所の稼働を確認、営業不可 115
うち中核 SS (34) : 稼働中 32、営業不可 2
- ・ 大分県 中核 SS (31) : すべて稼働中
- ・ 宮崎県 中核 SS (31) : すべて稼働中

● 石油コンビナート

- ・ 大島石油コンビナート
通常稼働中
- ・ JX エネルギー (株) 大分製油所
通常稼働中

● 水道

- ・ 断水戸数 20 市町村 15 万 7,634 戸 (熊本県 15 万 6,276 戸) (厚生労働省 18日 12:00)
- ・ 全戸断水: 御船町、西原村 (厚生労働省 17日 21:00)
- ・ 下水道: 一部施設で被害があるが、処理機能は確保。(国土交通省 18日 13:00)

● 通信 (総務省 18日 14:00)

○ 固定電話

- ・ 熊本エリア: 300 回線不通
- ・ 特設公衆電話: 31 台、衛星携帯電話: 359 台、無料公衆無線 LAN アクセスポイント: 約 170 台、ポータブル衛星装置: 7 台、携帯電話充電器 (マルチチャージャ) 約 163 台

- 携帯電話・PHSの停波状況：合計258局（携帯電話194局、PHS64局）
 - ・ NTTドコモ：28局停波（熊本25局、大分3局）
 - ・ KDDI（au）：23局停波（熊本20局、大分3局）
 - ・ ソフトバンク：【携帯電話】143局停波（福岡4局、熊本126局、大分13局）
【PHS】64局停波
- ※ NTTドコモは、全ての市町村役場をカバーしている。
- 災害用伝言サービスの状況
 - ・ NTT東西、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクが、災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板、災害用伝言板（web171）、災害用音声お届けサービスを展開済み。
- 無線LANサービスの無料提供について
 - ・ 携帯電話業者が、通常、有料で提供している公衆無線LANサービスを九州全域で無料開放。ワイヤ・アンド・ワイヤレスは九州全域での無料開放。
- 放送関係＜地上放送（テレビ、AM、FM）関係＞
 - ・ 熊本県：NHK南阿蘇局（テレビ、FM）は復旧。民放は本日中に復旧予定（熊本放送）。
 - ・ 大分県：NHK、民放とも被害報告なし。ラジオにおいてFM大分の玖珠局が自家発電機で放送継続中
- 日本郵政グループ
 - ・ 4月15日（金）から5月16日（月）まで、災害救助法が適用された地域を対象に、通帳・証書等や印章をなくした被災者の貯金等の非常取り扱い、また保険料の払込猶予期間の延伸、保険金の非常即時払等の非常取り扱いを実施
 - ・ 停電等により、31の郵便局等において業務用システムに障害（18日12:00）
- 小売（経済産業省18日14:00）
 - ・ 熊本県内のコンビニエンスストア主要3社（セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート）の状況：営業中545、休止中48（18日13:00）
 - ・ 熊本県内のスーパーマーケット主要4社（イオン、イズミ、サンリブ、西友）の状況：営業中43、休止中14（18日13:00）

5. 各省庁の対応

（1）内閣府

- 現地対策本部情報（16日3:25）
 - ・ 現在の警察、消防、自衛隊の規模では足りず、感覚的には今の3倍が必要と思われる。

（2）気象庁

- ・ 14日23:37以降、18日15:30までに11回の記者会見を実施

（3）原子力規制庁（18日）

- ・ 18日10:30 原子力規制委員会 臨時会議開催
- ・ 18日11:23 原子力規制委員会 委員長記者会見

6. 各省庁等の派遣状況

- (1) 海上保安庁 (18日 14:45)
- ・ 巡視船艇 12 隻、航空機 3 機、機動救難士等 6 名
 - ・ 巡視船艇 8 隻が給水等の住民支援を実施中
- 【14日以降のべ数】
- 船艇のべ 179 隻、航空機のべ 37 機
特殊救難隊のべ 12 名、機動救難士等のべ 19 名
- (2) 警察庁 (18日 15:00)
- ・ 警察災害派遣隊 2,403 人、ヘリ活動 11 機
- 【被災県体制】
- 熊本県警察 本部長以下 2,200 人
- (3) 消防庁 (18日 14:45)
- ・ 緊急消防援助隊 541 隊 1,981 人 (ヘリ 18 機含む)
 - ・ 熊本県内消防本部、550 人 (常備)
 - ・ 消防団 (熊本県内) 7,349 人
- (4) 防衛省・自衛隊 (18日 00:00)
- ・ 統合任務部隊 (JTF) 編成 (指揮官: 西方総監) 20,000 人活動中
 - ・ 以降 26,000 人態勢に移行
 - ・ 航空機 86 機 (うち、ヘリ 68 機)、艦艇 14 隻
 - ・ 即応予備自衛官の招集命令等を発出 (最大約 300 人)
- (5) 厚生労働省 (18日 11:00)
- ・ DMA T165 隊 (その他 100 隊移動中、282 隊待機中)
 - ・ ドクターヘリ 1 機活動中
- (自衛隊航空機等による DMA T チーム・ DMA T ロジスティックチームの派遣)
- 16日 16:45 DMA T ロジスティックチーム (16 人) (埼玉県入間基地より)
16日 19:14 DMA T 医療チーム (北海道千歳基地から 39 人)
16日 19:55 DMA T 医療チーム (宮城県松島基地から 40 人)- ・ 給水車 64 台確保 (45 台が応急給水を実施、19 台移動中)

(6) ヘリの活動状況

【宮崎県】

 - ・ 防災救急ヘリ「あおぞら」を熊本県に派遣

【防衛省】

 - ・ 東海大学学生寮の孤立者救助活動 (警察と連携)

【海上保安庁】

 - ・ 航空機 (MH) (鹿児島基地ヘリ、「おおすみ」搭載ヘリ) は熊本県の要請を受け、機動救難士及び潜水士を同乗させ出発。南阿蘇地区 (東海大学農学部) にて、救助された負傷者 2 人を大分県立病院へ搬送済。搬送先病院から東海大学へ DMA T 2 人及び看護師 1 人を輸送

【消防】

- ・ 高知県航空隊ヘリが南阿蘇村で孤立避難者 2 人を救助
- ・ 京都市消防局ヘリ及び大阪市消防局ヘリが南阿蘇村で救出活動
- ・ 鳥取県ヘリが上益城で孤立避難者 1 人救出

熊本地震についての対応状況

平成28年4月18日(月) 16時30分
 消防庁災害対策本部
 ※下線部は前回からの変更点

1 消防関係被害情報等

都道府県名	人的被害				住家被害				救助 件	救急 件	火災 件
	死者 名	負傷者			全壊 棟	半壊 棟	一部 破損 棟	程度 不明 棟			
		重傷 名	軽傷 名	程度不明 名							
福岡県		1	13			219					
佐賀県		4	9								
熊本県	42	201	838	400	1264	759			823	14	
大分県		4	20		3	14	1		32	2	
宮崎県		2	6		1	13					
合計	42	212	886	400	1268	1005	1		855	16	

2 消防の活動状況 消防全体で9,880名 (18日12:00現在)

- (1) 緊急消防援助隊 ※ 活動地域は全て熊本県
541隊 1,981名 (ヘリは18機)
- (2) 地元消防機関
 【熊本県】 消防隊 550名、消防団員 7,349名

3 緊急消防援助隊の18日の活動

- ① 南阿蘇村の立野地区及び河陽地区
 大阪府、広島県の各隊が、搜索救助活動を実施
- ② 南阿蘇村の赤瀬地区
 山口県、徳島県、高知県の各隊がペンション群の搜索救助活動
を実施
- ③ 熊本市内
 兵庫県、京都府、島根県、沖縄県、福岡県、宮崎県、鹿児島県、
長崎県、佐賀県の各隊がローラー作戦を実施
- ④ 益城町
 岡山県、愛媛県、香川県、鳥取県の各隊がローラー作戦を実施

(熊本県南阿蘇村の状況)

- ・立野地区、河陽地区及び赤瀬地区において、緊急消防援助隊及び地
 元消防本部が、警察・自衛隊と連携した搜索救助等を実施した。

4 消防庁の対応

- (1) 熊本県、熊本市、南阿蘇村において消防庁職員9名が現地での関係機関及び地方公共団体と連携した活動を実施
- (2) 熊本県から要望のあった毛布7.6万枚及び簡易トイレ2,750個について、調達搬入を実施中

【毛布】

静岡県、大阪府、広島県、関西広域連合に協力を求め、7万枚は17日に、0.6万枚は18日に佐賀県鳥栖市の仕分け所に搬入済み

【簡易トイレ】

東京都、千葉県に協力を求め、18日午前中に一部搬出開始

※ その他、指定都市市長会の協力により、毛布1.1万枚を17日に、毛布0.4万枚を18日に熊本県民総合運動公園（熊本市）に搬入済み

5 避難指示・避難勧告発令状況（18日12:00現在）

- ・ 避難指示：1市1村 （1,066世帯 2,602名）
- ・ 避難勧告：1市5町 （45,205世帯 118,771名）

都道府県名	市区町村名	避難指示			避難勧告		
		対象世帯数	対象人数	指示日時	対象世帯数	対象人数	勧告日時
熊本県	菊池市				17,300	49,000	4月16日 1時36分
	宇土市	72	99	4月18日 10時00分			
	美里町				76	229	4月17日 13時45分
	大津町				13,531	34,090	4月16日 3時55分
	高森町				2,866	6,743	4月16日 19時00分
	南阿蘇村	994	2,503	4月16日 16時15分			
	御船町				7,133	17,681	4月16日 22時00分
	甲佐町				4,299	11,028	4月16日 16時55分
合計（発令中）		1,066	2,602		45,205	118,771	

6 避難所の状況

【熊本県】 638箇所 104,900名 （18日 9:00現在）

【大分県】 242箇所 842名 （18日10:50現在）

【福岡県】 27箇所 120名 （18日 9:00現在）

【宮崎県】 2箇所 38名 （18日 7:00現在）

【長崎県】 21箇所 295名 （18日10:00現在）

平成 28 年 4 月 18 日(月) 14:00 現在
総 務 省

平成 28 年熊本地震による被害状況等について (第 29 報)

I 避難所及び行政機関の通信確保対応状況の概要

- 避難所において、携帯電話による通信は、概ね可能な状況である旨、通信事業者より報告あり。

(※) NTTドコモ及びKDDIが把握している避難所について疎通確認。ただし、NTTドコモについては、1か所の避難所(阿蘇西小学校)の疎通確認ができない状況のため、移動基地局車による対応を検討中。

- 4月18日午前9時現在
- ・ 特設公衆電話を合計 31 台
 - ・ 衛星携帯電話を合計 359 台
 - ・ 無料公衆無線 LAN(Wi-Fi) アクセスポイントを合計約 170 台
 - ・ ポータブル衛星装置(固定電話) 合計 7 台 (16 台から訂正報告あり)
 - ・ 携帯電話充電器(マルチチャージャ) を合計約 163 台を避難所及び行政機関に配備。
- 公衆電話の無料化を実施(熊本県全域、大分県全域)(4月16日19時50分以降)

II 被害状況

1. 通信関係

<固定電話>

- ・ NTT西日本 300回線不通

※土砂崩れの影響により立ち入りが難航しているため、復旧が長期化している。

<携帯電話>

- ・ 停波基地局数合計 194 局 (4/18 (月) 8:00 時点から 21 局減)。(NTTドコモ及びKDDIは、全ての市町村役場をカバー)。

<PHS>

- ・ 停波基地局数合計 64 局 (4/18 (月) 8:00 時点から増減なし)。

事業者	被害状況等
-----	-------

固定 (注)	NTT 東日本	・被害なし
	NTT 西日本	・熊本エリア：交換機収容ビル1棟（約300回線）の収容回線不通 （土砂崩れによるケーブル故障の様相） ・九州エリア：21交換機収容ビルで予備電源運用中
	NTT コミュニケーションズ	・被害なし
	KDDI	・被害なし
	ソフトバンク	・専用線：10回線 ADSL：936回線
携帯 電話	NTT ドコモ	<p>・28局（熊本県：25局、大分県：3局）が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。</p> <p>※停波原因（停電：22局、伝送路断：6局）</p> <p>＜熊本県＞<small>あそぐんみなみあそむら</small>阿蘇郡南阿蘇村、<small>きくちぐん</small>阿蘇市、<small>きくちぐん</small>菊池郡 <small>おおづまち</small>大津町、<small>くもとけんきくちし</small>熊本県菊池市、<small>かみましきぐんみふねまち</small>上益城郡御船町</p> <p>＜大分県＞<small>ひたし</small>日田市</p> <p>※全ての市町村役場は通信の疎通が可能 ※避難所における通信の疎通状況</p> <p><u>概ねの避難所において通信の疎通を確認しているが、通信の疎通が確認できない避難所（阿蘇西小学校）については、移動</u> <small>あそにししょうがっこう</small> <u>基地局車等による早期復旧に向け対応中。</u></p>
	KDDI (au)	<p>・23局（熊本県：20局、大分県：3局）が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。</p> <p>※停波原因（停電：15局、伝送路断：7局、詳細確認中：1局）</p> <p>＜熊本県＞<small>あそぐんみなみあそむら</small>阿蘇市、<small>あそぐん</small>阿蘇郡南阿蘇村、<small>あそぐん</small>阿蘇郡 <small>たかもりまち</small>高森町</p> <p>＜大分県＞<small>くすぐんここのえまち</small>玖珠郡九重町</p> <p>※全ての市町村役場は通信の疎通が可能 ※避難所における通信の疎通状況</p> <p><u>開設中の避難所については通信の疎通を確認済。</u></p>
	ソフトバンク	【携帯】

	<p>・ <u>143局</u> (福岡県：4局、熊本県：126局、大分県：13局) が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。</p> <p>※停波原因 (停電：43局、伝送路断：100局)</p> <p>＜熊本県＞阿蘇市、阿蘇郡小国町、阿蘇郡高森町、阿蘇郡南阿蘇村</p> <p>＜大分県＞玖珠郡九重町</p> <p>※避難所における通信の疎通状況詳細確認中。</p> <p>【PHS】</p> <p>・ <u>64局</u> (熊本県：64局) が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。</p> <p>＜熊本県＞上益城郡益城町、嘉島町、阿蘇郡西原村</p> <p>※下記の役場カバーができていないが、移動無線車等による応急対応を予定</p> <p>・ 熊本県益城町役場、熊本県嘉島町役場、熊本県西原村役場</p> <p>※避難所における通信の疎通状況詳細確認中。</p>
--	---

(注) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

＜防災行政無線関係＞

阿蘇市 一部地域で使えない状態。詳細確認中。

高森町 一部地域で停電により使えない状態。復旧要請中。

＜DEURAS (電波監視システム)＞

以下のセンサ局が運用停止中であるが、他のセンサ局を活用して電波監視業務を実施中。

・ DEURAS-D (遠隔方位測定設備)

2センサ局運用停止中。

・ DEURAS-H (短波方位測定設備)

阿蘇センサ局運用停止中 (主に阿蘇地域の停電及び通信回線不通のため)。

2. 放送関係

<地上放送（テレビ）>

- ・熊本県：NHK大矢野湯島局（テレビ）
 - ・停電後、非常用電源の故障により停波。
→16日（土）13:19 発電機を持ち込んだため復旧。
16:09 商用電源が復旧
(停波時間は、9:26～13:19（3時間53分）)

NHK南阿蘇局（テレビ、FM）

- ・停電後、非常用発電機の給電停止により停波。
→17日（日）発電機の修理により復旧（停波時間は、
18:20～10:45（16時間25分））

NHK（AM） 被害報告なし

熊本放送（TBS系）蘇陽北局（AM）

- 16日（土）1:25 からアンテナ破損により停波。
(本日（18日）中に復旧予定)
(当該エリアの一部では親局の放送を聴取できている状況)

- ・大分県：NHK、民放とも被害報告なし

<コミュニティ放送>

- ・熊本県：放送継続中（3社）
- ・大分県：放送継続中（3社）

<ケーブルテレビ>

- ・熊本県：放送中断中（2社）、確認済（7社）
- ・大分県：復旧済（2社）、確認中（1社）
※16社については被害なし
- ・佐賀県：確認済（13社）
※13社については被害なし
- ・宮崎県：確認済（7社）
※7社については被害なし

<地上放送（テレビ、AM、FM）関係>

都道府	事業者	被害状況等	最大被害数
-----	-----	-------	-------

県			
熊本県	<p>○NHK南阿蘇局(テレビ、FM)</p> <p>○NHK大矢野湯島局(テレビ総合・教育)</p> <p>○NHK(AM)</p> <p>○熊本放送蘇陽北局(AM)</p> <p>○民放4社(テレビ)</p>	<p>○停電後、非常用発電機の故障により停波。 →17日(日)発電機の修理により復旧(停波時間は、18:20~10:45(16時間25分))</p> <p>○停電後、非常用電源の給電停止により停波。 →16日(土)13:19発電機を持ち込んだため復旧。16:09商用電源が復旧(停波時間は、9:26~13:19(3時間53分))</p> <p>○被害報告なし</p> <p>○16日(土)1:25からアンテナ破損により停波。 (当該エリアの一部では親局の放送を聴取できている状況) <u>(本日(18日)中に復旧予定)</u></p> <p>○熊本局 16日(土)地震発生直後、停電のため放送中断したが、手動で発電機を起動し復旧。その後商用電源復旧。(停波時間1:57~2:30(33分))</p> <p>○砥用局 16日(土)停電後、</p>	<p>○6,372世帯 (一部は他の中継局(阿蘇局)の放送で視聴の可能性あり。)</p> <p>○169世帯</p> <p>○被害報告なし</p> <p>○約1万世帯</p>

		非常用発電機が停止して停波したが、発電機を再起動・復旧。その後商用電源復旧。(停波時間 9:55～11:20 (1 時間 25 分)) (18 日(月) 13 時 30 分現在、県内 5 か所で停電のため非常用発電機により放送継続中)	○県内 8 か所で非常用発電機を使用していた。
大分県	○NHK (テレビ、AM、FM) ○民放 (テレビ 3 社 (うち 1 社 AM 兼営)、FM 1 社)	○NHK、民放とも被害報告なし (ラジオについて、エフエム大分の玖珠局が自家発電機で放送継続中)	○被害報告なし

<コミュニティ放送関係>

都道府県	事業者	被害状況等	最大被害数
熊本県	○熊本シティエフエム	○放送継続中 (停電により短時間停波)	○停波 1 件
	○その他のコミュニティ放送 (2 社)	○被害報告なし	○被害報告なし
大分県	3 社	○被害報告なし	○被害報告なし

<ケーブルテレビ>

2 社 8,114 世帯が視聴不可 (9:30 時点 (8,114 世帯) から変化なし)

都道府県	事業者	被害状況等	最大被害数

熊本県	○ジェイコム九州	○熊本局エリアの一部においてSTB設置8,074世帯が視聴不可。 (注1) 原因は、「幹線」等に異常があるものなのか、「停電」によるものなのかは不明	○22,760世帯(14日(金)発生の地震による視聴不可世帯1244件を含む)
	○たかもり光ネットワーク(株)	○一部商用電源復旧、発電機燃料到着により放送再開	○4,951世帯
	○小国町 ○その他のケーブルテレビ(7社)	○一部断線(本日(18日)中に仮復旧予定) ○確認済(7社について設備被害なし)	○40世帯 ○被害報告なし
大分県	○大分ケーブルテレビコム	○16日(土)13時45分復旧	○9世帯
	○日田市	○17日(日)17時復旧	○1,100世帯
	○その他のケーブルテレビ(17社)	○確認中(佐伯市)(16社について被害なし)	○確認中
宮崎県	7社	○確認済(7社について被害なし)	○被害報告なし
佐賀県	13社	○確認済(13社について被害なし)	○被害報告なし

3. 郵政関係

<郵便・郵便局業務関係>

- ・安全最優先で通常業務を実施。
- ・18の郵便局において、4/18(月)の窓口業務を見合わせ。
- ・停電等により、31の郵便局等において、業務用システムに障害。
(4/18(月)12:00 現在)
- ・交通規制等により、熊本県、宮崎県及び鹿児島県を引受、配達地域とする郵便物等の送達に遅延。
- ・熊本県益城町、南阿蘇村において、郵便物等の配達が困難。
- ・熊本県を宛先とするゆうパックの引受けを、4月16日(土)から一時的に停止。

Ⅲ 総務省の対応状況

- 4月14日(木)21時33分 総務省非常災害対策本部設置
- 4月14日(木)22時50分 九州総合通信局災害対策本部設置
- 4月15日(金)現地対策本部要員派遣(九州総合通信局無線通信部長)

- 4月17日、NTT西日本、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、UQコミュニケーションズ、ワイヤレスシティプランニングに対して、被災者の通信需要に応えられるよう、特設公衆電話や無料公衆無線LANアクセスポイントの開設、携帯電話充電器(マルチチャージャ)の配備など、避難所での通信利用環境の確保を優先的に取り組むよう要請済。

- 移動電源車貸与(2台)
 - ・熊本県益城町役場(九州総合通信局より1台)
 - ・熊本県宇土市(中国総合通信局より1台)

- 総務省保有移動通信機器貸与
 - ・御船町 MCA無線機2台
 - ・甲佐町 簡易無線機10台
 - ・宇土市 MCA無線機21台
 - ・高森町 簡易無線機10台、衛星携帯電話2台(搬送中)

- 4月15日、災害救助法の適用を受けた地域を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施。

○NTT西日本及び携帯電話事業者が通信電源用に使用する燃料について、資源エネルギー庁と連携し、安定供給を確保。

※：熊本県内の中核サービスステーション（自家発電設備や大型タンク等を備えた災害時に地域の石油製品の供給の拠点）からの調達。

○東海総合通信局が、4月18日（月）より、当面3日間、熊本県災害対策本部に職員2名を派遣予定。

○本日（18日（月））、報道発表により被災地域における地域の避難情報や生活情報等を放送するコミュニティFM局を周知。

IV 事業者等の対応状況

○避難所等の通信利用環境整備（詳細）

事業者	特設公衆電話	衛星携帯電話	ポータブル衛星装置（固定電話）	特設公衆Wi-Fi	携帯電話充電機（マルチチャージャ）	携帯電話	タブレット	データ通信端末	移動電源車	可搬型発電機
NTT西日本	31台 (19箇所)	22台 (17箇所)	7台 (7箇所)	16台 (14箇所)	—	—	—	—	1台 <small>(移動電源車 高圧用（充電 が可能）)</small>	—
NTTドコモ	—	121台 (5組織)	—	96台 (85箇所)	139台 (52箇所)	559台 (5組織)	65台 (1組織)	8台 (1組織)	—	—
KDDI	—	—	—	約26台 (26箇所)	約10台 (10箇所)	—	—	—	5台	9台
ソフトバンク	—	216台 (2組織)	—	約14台 (5箇所)	約14台 (14箇所)	530台 (3組織)	—	—	—	1台 (1箇所)
NTT BP	—	—	—	約18台 (12箇所)	—	—	—	—	—	—
合計	31台	359台	7台	約170台	約163台	約1089台	65台	8台	6台	10台

○災害用伝言サービスの状況

・NTT東西、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクが、災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板、災害用伝言板（web171）、災害用音声お届けサービスを展開済み。

○NTT西日本

- ・災害救助法適用地域内の利用者を対象に、避難により加入電話サービスが利用できなかった場合には、4ヶ月を限度に料金の減免を実施。

○ソフトバンク

- ・4月17日、福岡県八女市矢部村高巣公園周辺において、気球無線中継システムによるサービス提供を開始（福岡県においても、一部の基地局が停波している模様）。

○NTT西日本、NTTドコモ、ソフトバンクは、熊本県庁にリエゾン要員を派遣済。

（KDDIにおいても、本日中に派遣予定）。

○日本郵政グループ

- ・4月15日（金）から5月16日（月）まで、災害救助法が適用された地域を対象に、通帳・証書等や印章をなくした被災者の貯金等の非常取扱い、また、保険料の払込猶予期間の延伸、保険金の非常即時払等の非常取扱いを実施。
- ・ゆうちょ銀行及び郵便局の貯金窓口において、4月18日（月）から6月30日（木）まで、災害に対する義援金の無料送金サービスを実施。

○NHK

- ・災害救助法による救助が行われた区域内において、半壊、半焼等の程度の被害を受けた建物に受信機を設置して締結されている放送受信契約につき、2ヶ月間の受信料免除

○衛星放送

- ・(株)WOWOW

災害救助法が適用された地域に居住の利用者から申し出があった場合に、4月分の視聴料を免除

- ・スカパーJ S A T(株)

災害救助法が適用された地域に居住の利用者に対して、便宜を図るべく、専用フリーダイヤルを設置

○ケーブルテレビ

- ・株式会社 ジュピターテレコム

災害救助法が適用された地域にお住まいのお客様に対して、便宜を図るべく、専用フリーダイヤルを設置（視聴料の減免・支払期

限の延長等)

○情報通信研究機構(NICT)による災害対応

- (1) DISANA - 対災害 SNS 情報分析システム
 - ・ 平常どおり情報提供中。熊本県益城町等の被害情報を提供中。
- (2) 多言語音声翻訳アプリ“VoiceTra”(ボイストラ)
 - ・ 平常どおりサービス提供中
 - ・ 被災地に外国人観光客等がいる場合、翻訳機能が利用可能
- (3) 航空機搭載合成開口レーダ(Pi-SAR 2)による観測
 - ・ 4月17日(日)午前8時過ぎから10時頃まで熊本県から大分県にかけての状況把握のための航空機 SAR(Pi-SAR2)観測を実施。
 - ・ 機上で処理した画像を内閣府(防災担当)、熊本県、大分県に提供済み。
 - ・ 4月17日(日)午後9時、NICT ウェブサイトにおいて詳細な画像データを一部公開。観測データの処理に合わせ、当該サイトを随時更新。

大臣官房総務課(調整) 電話 03-5253-5090 FAX 03-5253-5093
--

NICT「対災害SNS情報分析システム」によるSNS情報の提供

1

- NICTは、ソーシャルネットワークサービス(SNS)のTwitterに投稿された災害情報を自動的に分析し、「熊本県で何が不足していますか？」等の質問に対する投稿内容を自動集約して表示するシステムを開発。
- 4月15日(金)15時からNICTのホームページにもリンクを設置、被害に関する項目の検索結果を提供。
(サイトのアドレスは右記のとおり。 <http://www.nict.go.jp/info/topics/2016/04/160417-1.html>)

熊本県の食糧不足に関する検索結果例 (投稿内容を自動的に集約して順番に表示)

分類: 飲料 (50件) 143view

クリックすると関連するツイートが表示

- 食料がない (20) 食料等が不足する (1) 飲食物が足りない (2)
- 食べ物等が不足する (1) 食べ物がない (20) 牛が死ぬ (1)
- ご飯が食べられない (20) 食糧が入らない (8) ボラが行かない (2)
- アレルギー対応食が入らない (1) 食品が品薄だ (1) パンがない (11)
- 今食料が不足する (1) イチゴが来ない (1) 和菓子が消える (1) スイカをカットする (8)
- 野菜が消える (1) 肉が消える (1)
- バナナがない (1) ケーキがつぶれる (1) 炊き出しが無い (1) 食品等を選ける (1)
- 弁当が品切れする (1) 食料品がない (2) 飯を食わない (3) 調味料等が足りない (1) お米を売る (3)
- 飲食品が品薄だ (1) 炊き込みご飯が死ぬ (1) 食が足らない (2) 豚汁をぶつ (1) おにぎりが余る (3)
- のりをしない (2) 米が無い (2) カップ麺はない (1) 馬刺しを忘れる (1) カップ麺類はない (1)
- 乾パンが無い (1) ごはんがない (1) パン類がない (1) 昼食が無い (1) 朝食を食べられない (1)
- 非常食を持って行かない (1) 種類を食べられない (1) 離乳食が足りない (1) カップラーメンがない (1)

(注)NICT: 国立研究開発法人 情報通信研究機構

関連するツイート

ちやまあやは武道館イキダ
2016年4月15日 21:04

熊本では今も断水が続いています。
トイレも流せません。手洗いも歯磨きもできません。
お風呂も何日も入れていません。
3人で小さなトイレ。など食料がありません。
何でもいいます。食料をください。
助けてください。お願いします。
余震も続いていて怖いです。
助けてください。

2016年4月18日 09:16

👍 18 🍏 5

あおいとりの写真
@aoi10101
2016年4月17日 18:41

熊本の地震はまだまだ続いています。。皆さんの支援物資や募金活動など多くの励ましの言葉に感謝します！多くの地域が断水し食料も不足して孤立する地域や指定外避難所が多く、物資が届いてないのが現状です。皆さんに頼るばかりですが、どうか皆さまの温かなご支援を宜しくお願い致します。。。

2016年4月17日 18:41

👍 2 🍏 3

4月18日(月)10時現在

- DISAANAが処理するツイートはTwitter全体の10%であるため網羅性はない。また、検索結果は機械的な処理によって抽出されたものであり、その内容の正確性や真実性が保証されるものではない。

「対災害SNS情報分析システム」の検索結果を地図上に表示させた場合



下益城城南中学校
お水を引くだけでした。しかし、未だにご飯がありません。1歳の子供にご飯を食べてほしい。ただ、ご飯を食べさせてあげられません。また、オムツ、おしりふき、生理用品も必要な方が沢山いらっしゃると思います。ここを被災地で助けて下さい。雨が降り始めました。
2016年4月16日 16:14

※ 地図上のポイントをクリックすると、関連するツイートを表示される。

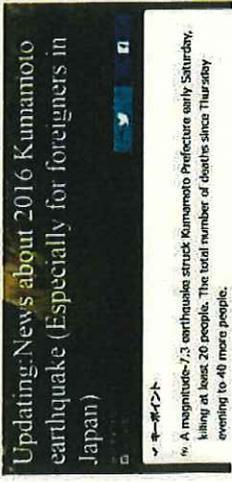
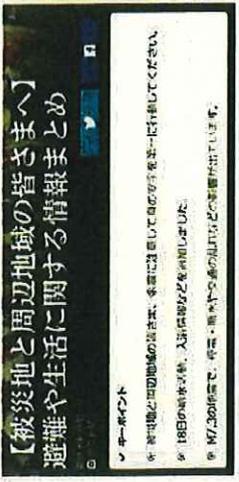
地元の南阿蘇が孤立しては食料届いてません。水も届いていない。あるんですが地震の影響で濁り水で飲めません。久木野には食料きたらいいんですけど、日本にはまだきてないみたいで、どうにかおみやげか、どうか家族友達村のみんなにも食料が届きますように。
2016年4月17日 13:25

熊本学園大に避難していますが、車椅子の方や高齢の方も大勢います。各避難所に水もご飯も無い状態です。一帯で一つのキャンプ場を食べていますが、それすらもままならぬ。避難場所もあると思います。協力し合ってみて生きていきましょう。
2016年4月16日 20:54

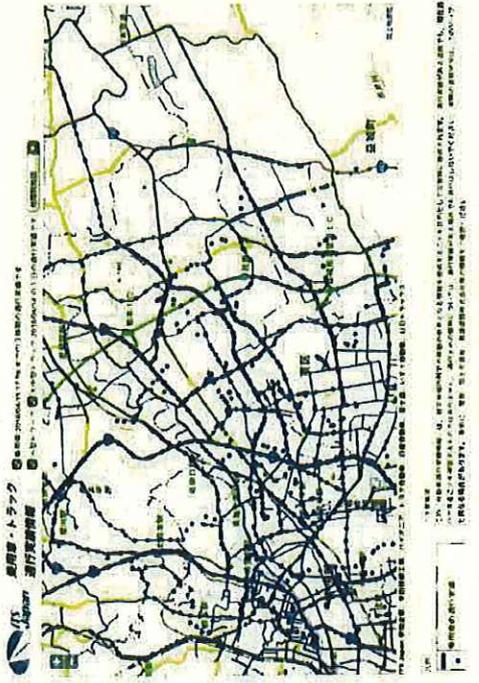
※ツイッターの内容に地名が書かれてある場合、自動的に地図上で表示。

(参考)ICT関連サービス事業者の対応

【ヤフー・ジャパン】
地震やライフラインの情報を特設ページで提供。多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」のリンクも掲載。



【ITS Japan】
自動車メーカーやカーナビから提供されたプローブ情報(通行実績データ)を集約、公開。



【ゲーグル】

・パーソンファイnder(安否情報)や災害情報マップ(地震情報や現地写真)などを特設サイトに掲載。

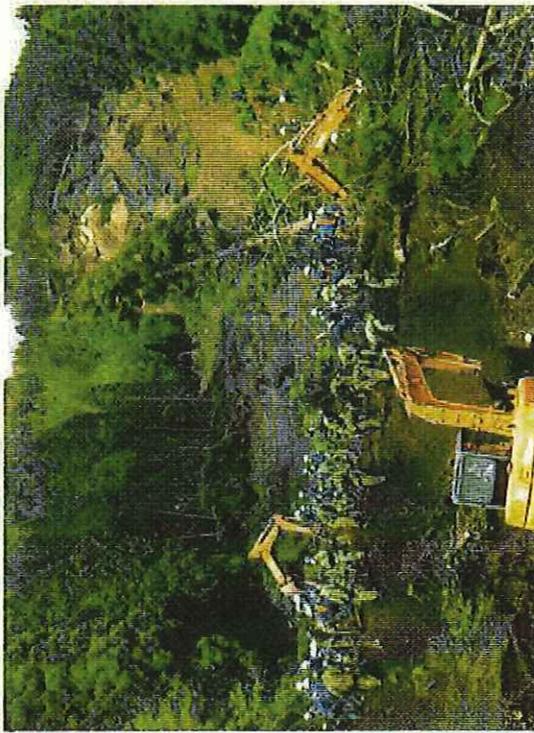


【J-anpi(安否確認総合サイト)】
携帯電話事業者や自治体、ゲーグルの安否情報を横断的に検索できるサイト。(NHKやNTTが共同で提供)



平成28年(2016年)熊本地震にかか 防衛省・自衛隊の対応

4月17日(日)午前11時 南阿蘇村ログ山荘火の鳥における搜索活動



活動部隊:陸自第5施設団(福岡県小郡市)

平成28年4月18日
防衛省

平成28年熊本地震における部隊現況・実績

政府等	<p>○ 非常災害対策本部会議 #1(14日2321)～#8(17日1830) 18日1630 #9非常災害対策本部会議</p>	防衛省等	<p>○ 省災害対策本部会議 #1(14日2245)～#11(17日1900) ○ 統合任務部隊編成(16日0455) ○ 即応予備自の災害派遣等招集 (17日1718) 18日未定 #12省災害対策本部会議</p>	活動の態勢	<p>○ 人員:約2.0万人 ○ 航空機:86機 (内、ヘリ68機) ○ 艦艇:14隻</p>
現地 ニーズ	<p>○ 大規模な土砂崩れや、多数の倒壊した家屋が確認されていることから、引き続き人命救助の必要性 ○ 引き続き、救援物資の輸送や、給水及び給食の必要性 ○ ライフライン遮断の長期化に伴い、入浴支援ニーズ拡大の可能性あり ○ 熊本県からの新たな支援ニーズ ① 県との調整の下、阿蘇地区の道路啓開(俵山ロード、ミルクロード) ② 益城町の生活道路を塞いだ倒壊家屋の撤去</p>				
運用 構想	<p>○ 【自衛隊の構想】 23日までに2.6万人態勢を構築(増大する生活支援ニーズに対応するため態勢を強化) 北方増援部隊の輸送を実施予定(護衛艦いすも、空自・米軍C-130輸送機について調整中) 即応予備自招集命令17日発令、最大300名が逐次戦力投入 ○ 【JTFの構想】 被害の激甚な地区(南阿蘇村、益城町等)を重視し、組織的に災害派遣活動(人命救助、生活支援等)を実施。この際、各自治体との密接な連携を保持</p>				
日米 調整	<p>○ 米輸送機C-130×21による輸送(千歳→熊本:人員8名、車両4両) ○ 米輸送機オスプレイ×4による輸送(熊本→南阿蘇村:水、食料、毛布等20t) ○ 米輸送機UC-35による輸送(厚木→熊本、人員×4)</p>				
人命救助	<p>○ 人命救助:【累計:7名】(南阿蘇村:6名、益城町:1名、) ○ 病院等の患者の輸送:【累計:392名】(17日分、82名)(益城町) ○ 被災者の安全確保のための人員輸送:【累計:730名】(17日分、116名)(熊本市、益城町、南阿蘇村、高森町) ○ DMAT輸送:【累計94名】</p>				
実績	<p>○ 物資輸送(計18か所):【累計:毛布16,122枚、飲料水92,116缶】(17日分、毛布8,700枚、飲料水67,116缶)(熊本市、阿蘇市、南阿蘇村、宇城市、宇土市、美里町、甲佐町、御船町、嘉島町、山都町、合志市、大津町、菊陽町、大分市、由布市、宇城市) ○ 給食支援(計20か所):【累計:142,545食】(17日分、69,445食)(熊本市、益城町、宇城市、阿蘇市、別府市、由布市) ○ 給水支援(計32か所):【累計:657,32t】(17日分、196.3t)(熊本市、益城町、菊池市、美里町、宇土市、玉名市、宇城市、山都町、大津町、阿蘇市、別府市、玖珠町) * 益城町総合体育館、大津町運動公園、玉名市役所、宇土市花園等、10か所で新たに給水支援 ○ 入浴支援(計3か所):【累計:1,229名】(17日分、738名)(益城町、宇城市他) ○ 天幕支援(計5か所):【累計:31張】(南阿蘇村、由布市他) ○ 医療支援(計4か所):【累計:365名】(17日分、229名)(熊本市、益城町、宇城市他)</p>				

※ 修正・追加事項は赤字表記

生活支援の状況(熊本県)

熊本市における生活支援

- 給水支援(75.5t(当日分))
 - ・ 西方後方支援隊(健康駐屯地)
 - ・ 福岡クリニック:3t
 - ・ 西方通信群(健康駐屯地)
 - ・ 第2高校:2t
 - ・ 東町小学校:2t
 - ・ 錦ヶ丘中学校:2t
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 熊本赤十字病院:17t
 - ・ 熊本県立体育館:2t
 - ・ 光の森公園:8t
 - ・ 熊本市役所:3t
 - ・ 福田病院:5t
 - ・ 東病院:2.5t
 - ・ 熊本泌尿器科:10t
 - ・ 武蔵丘平山クリニック:5t
 - ・ ながみねクリニック:8t
 - ・ 熊大付属病院:2t
 - ・ 鶴田病院:1t
 - ・ 日赤病院:1t
 - ・ グランメッセ:2t
- 給食支援
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 東町小学校
 - ・ 東町中学校
- 患者輸送(23名(当日分)/累計166名)
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 23名/累計166名

宇城市における生活支援

- 給水支援(19.3t(当日分))
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 5t
 - ・ 5地对艦連隊(健康駐屯地)
 - ・ 東町小学校:3.3t
 - ・ 宇土市花園コメン:11t
- 給食支援(2861食(当日分))
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 宇城市役所:600食
 - ・ 5地对艦連隊(健康駐屯地)
 - ・ 東町小学校:2261個(おにぎり)
- 医療支援(86人(当日分)/累計131人)
 - ・ 第8衛生隊/8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 宇城市役所:86人/累計131人
- 入浴支援
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 宇城市役所
- 物資輸送
 - ・ 佐世保地方隊(佐世保基地)
 - ・ 宇城市:糶食24576食、飲料水52260缶、毛布1180枚



給食支援のメニュー

おにぎり、味噌汁等、努めて温かいもの

菊池郡における生活支援

- 給水支援(15t(当日分))
 - ・ 3特隊(姫路駐屯地)
 - ・ 戸崎小学校
 - ・ 隈府小学校
 - ・ 旭志総合支所
 - ・ 菊之池小学校

阿蘇市、南阿蘇村における生活支援

- 給水支援(88t(当日分))
 - ・ 12旅団(長野)
 - ・ 阿蘇小学校:1t
 - ・ 12旅団(長野)
 - ・ 尾ヶ石東郷小学校:0.5t
 - ・ 西方普通科連隊(相浦駐屯地)
 - ・ 6.5/6.5t、水缶15本
 - ・ 5施設団(小郡駐屯地)
 - ・ 6箇所:80t
- 給食支援(4300食(当日分)/累計5580食)
 - ・ 西方普通科連隊(相浦駐屯地)
 - ・ 4300食/累計5580食
- 物資輸送
 - ・ 佐世保地方隊(佐世保基地)
 - ・ 阿蘇市:糶食6036食、飲料水3240缶、毛布475枚、ブルーシート20枚
 - ・ 南阿蘇村:糶食2136食、飲料水720缶、毛布285枚

益城町における生活支援

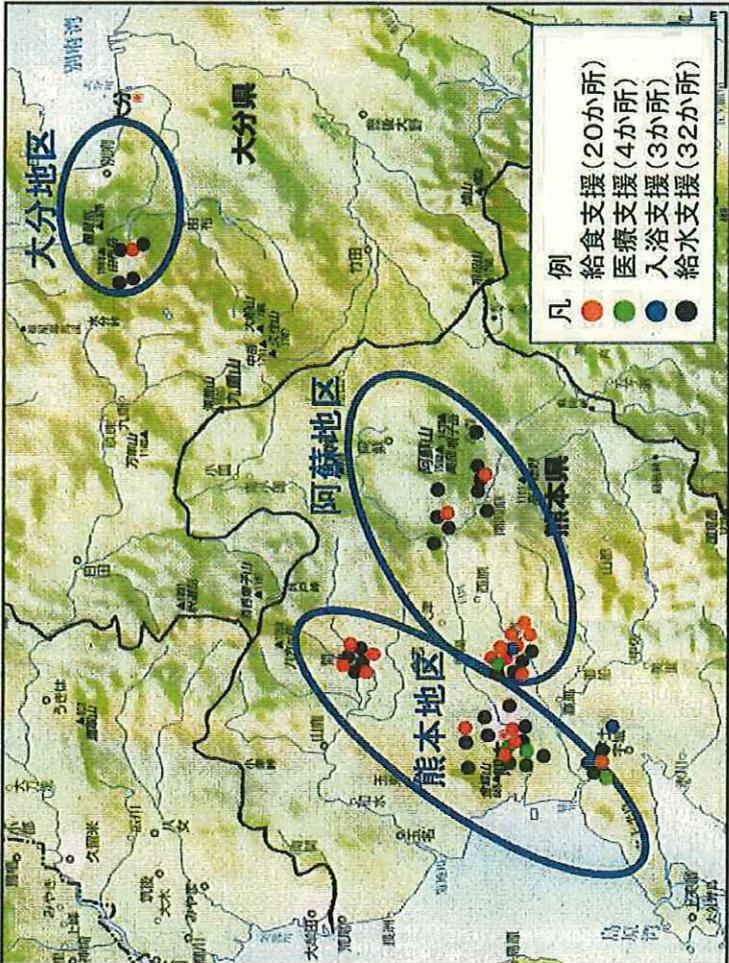
- 給水支援(34.5t(当日分))
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 益城総合体育館:2t
 - ・ 益城町役場:6.5t
 - ・ 広安小学校:2t
 - ・ ひろやす荘:2t
 - ・ いこいの里:2t
 - ・ 熊東園:2t
 - ・ 保険福祉センター:5t
 - ・ 西空・3衛校(福岡・芦屋)
 - ・ 広安西小学校:13t/累計26.2t
- 給食支援(13560食(当日分))
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 熊本総合体育館:1000食
 - ・ 広安小学校:7200食
 - ・ アクアドーム:1500食
 - ・ KKウイング:1200食
 - ・ 保険センター:1000食
 - ・ 西空・3衛校(福岡・芦屋)
 - ・ 広安西小学校:1660食/3360食
- 医療支援(137人(当日分)/累計221人)
 - ・ 第8衛生隊(北熊本駐屯地)
 - ・ 益城町保険福祉センター:137人/累計221人
- 入浴支援(356人(当日分)/累計612人)
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 益城保険福祉センター:356人/累計612人



平成28年熊本地震における自衛隊の活動予定
(4月18日(月))

28.4.180500
防衛省

運用構想	激甚な災害地区を重視し、約2万人態勢(最大約2.6万人態勢)をもって組織的に災害派遣活動(人命救助、生活支援等)を実施する。この際、各自治体等との密接な連携を保持する。	
活動概要	航空機	人命救助(行方不明者捜索等)、官邸への映像伝送、航空偵察、部隊展開、物資空輸を実施
	地上部隊	人命救助 倒壊家屋、がけ崩れ地域(家屋を含むもの)における要救助者捜索を実施 生活支援 自治体等の要請に基づき、給食・給水・入浴・医療支援及び物資輸送を実施 (昨日から支援場所増大 給水:22→32か所、給食:16→20か所) (本日午前中より、救援物資の輸送を実施中)
	その他	米軍機による人員・救援物資等輸送及び即応予備自衛官の災害派遣招集(最大300名)を実施



地域等	隊
阿蘇地区	第8師団(熊本県熊本市)
	第5施設団(福岡県小都市)
	第6師団(山形県東根市)
	第12旅団(群馬県榛東村)
	第13旅団(広島県海田町) 等
熊本地区	第42普通科連隊(熊本県熊本市)
	第5地对艦ミサイル連隊(熊本県熊本市)
	第8特科連隊(熊本県熊本市) 等
大分地区	第3師団(兵庫県伊丹市) 等
	西部方面特科隊(大分県湯布院町) 第4戦車大隊(大分県玖珠市) 等
海災部隊	おおすみ、しもきた、あまくさ 等
空災部隊	西部航空警戒管制団(福岡県春日市) 第3術科学校(福岡県芦屋町) 等 新田原救難隊(宮崎県新富町) 等

熊本地震に係る対応状況について
(最終到達地については引き続き確認中)

1. 支援物資の供給状況 (4月17日分) 13万食

(1) 鳥栖流通センター等への到着数量、輸送手段、到着時刻について

- | | | | | |
|---|-----------------|---------|------------|-----------------|
| ① | パン
(内訳) | 40,000食 | | |
| | 山崎製パン | 30,000食 | (自社調達トラック) | 17時鳥栖到着済 |
| | オイシス | 5,000食 | (国交省に依頼) | 18日7時鳥栖到着済 |
| | タカキベーカリー | 5,000食 | (国交省に依頼) | 20時45分鳥栖到着済 |
| ② | カップ麺
(内訳) | 50,400食 | | |
| | 日清食品 | 50,400食 | (国交省に依頼) | 17時鳥栖到着済 |
| ③ | おにぎり
(内訳) | 11,000食 | | |
| | 炊飯協会 | 11,000食 | (自社調達トラック) | |
| | のぼる | 2,500食 | (自社調達トラック) | 21時10分宇城市役所到着済 |
| | どんどんライス | 5,000食 | (自社調達トラック) | 18日7時10分熊本市内到着済 |
| | ヨコヤマ | 2,500食 | (自社調達トラック) | 18時半宇城市役所到着済 |
| | 北九炊飯 | 1,000食 | (自社調達トラック) | 21時宇土市役所到着済 |
| ④ | パックご飯
(内訳) | 29,840食 | | |
| | 佐藤食品 | 20,000食 | (自社調達トラック) | 13時・15時鳥栖到着済 |
| | 神明 | 9,840食 | (自社調達トラック) | 13時半鳥栖到着済 |
| ⑤ | 育児用調製粉乳
(内訳) | 1,368kg | | |
| | 日本乳業協会 | 1,368kg | | |
| | 明治 | 480kg | (自社調達トラック) | 10時30分鳥栖到着済 |
| | 雪印ピーンスターク | 500kg | (自社調達トラック) | 11時50分鳥栖到着済 |
| | 森永乳業 | 388kg | (自社調達トラック) | 12時40分鳥栖到着済 |
| | | | | 上記及び幼児用の水120L |

※国交省への依頼便については、支援物資の配送状況を確認する仕組みを構築

(2) 県が要請した支援物資等の到着数量、輸送手段、到着時刻について

- ① 保存用パン（缶入り） 3,432個
 (内訳)
 日興食品（佐賀工場） 3,000個 (国交省に依頼) [16日南小国到着済]
 432個 (国交省に依頼) [17日益城町到着済]
- ② 保存用パン（長期保存） 12,000個
 (内訳)
 イケダパン（鹿児島県・重富工場） 12,000個 [自社調達トラック] [20時45分アクトアドーム熊本到着済]
- ③ 水2L 40,104本
 (内訳)
 財宝（垂水第一工場） 40,104本 (国交省に依頼) [17日中に熊本県内供給地7カ所に到着済]
- ④ アルファ化米 1,000食
 (内訳)
 尾西食品 1,000食 (国交省に依頼) 昨日6時現地到着済
 [熊本県民総合公園陸上競技場]
- ⑤ 備蓄米 4,500kg [備蓄米の保管業者がトラックを調達] 17日21時30分阿蘇到着済

※国交省への依頼便については、支援物資の配送状況を確認する仕組みを構築

2. 支援物資の供給予定 (4月18日分) 36万食

(1) 鳥栖流通センター等への到着数量、輸送手段、到着時刻等について

- | | | | | |
|---|------------------|---------------|------------|----------------|
| ① | パン | 150,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | オイシス | 5,000食 | (国交省に依頼) | 12時30分発送済 |
| | 木村屋總本店 | 10,000食 | (国交省に依頼) | 15時発送済 |
| | 神戸屋 | 20,000食 | (国交省に依頼) | 14時発送済 |
| | 敷島製パン | 40,000食 | (国交省に依頼) | 14時発送済 |
| | タカキベーカリー | 5,000食 | (国交省に依頼) | 12時発送済 |
| | 第一屋製パン | 4,000食 | (国交省に依頼) | 14時発送済 |
| | フジパン | 22,000食 | (国交省に依頼) | 11時45分発送済 (一部) |
| | 山崎製パン | 44,000食 | (自社調達トラック) | 12時30分到着済 |
| ② | カップ麺 | 154,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | 日清食品 | 154,000食 | (国交省に依頼) | 12時発送済 |
| ③ | おにぎり等 | 51,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | 山崎製パン | 40,000食 | (自社調達トラック) | 8時到着済 |
| | 炊飯協会 | 11,000食 | | |
| | のぼる | 2,500食 | (自社調達トラック) | 12時発送済 |
| | どんどんライス | 5,000食 | (自社調達トラック) | 20時発送済 |
| | ヨコヤマ | 2,500食 | (自社調達トラック) | 19時発送済 |
| | 北九炊飯 | 1,000食 | (自社調達トラック) | 12時発送済 |
| ④ | パックご飯 | 10,000食 | | |
| | (内訳) | | | |
| | 佐藤食品 | 10,000食 | (自社調達トラック) | 15時到着済 |
| | ※越後製菓 | 48,000食 | 発送 | (19日未明到着) |
| ⑤ | 水 | | | |
| | (内訳) | | | |
| | サントリー食品インターナショナル | 550ml 72,000本 | (自社調達トラック) | 9時到着済 |

※国交省への依頼便については、支援物資の配送状況を確認する仕組みを構築

(2) 県が要請した支援物資の到着数量、輸送手段、到着時刻について

① 保存用パン（缶入り）

（内訳）

トクスイコーポレーション 7,680食（国交省に依頼） 9時発送済

② 保存用パン（長期保存）

コモ

9,600食（国交省に依頼） 9時発送済

③ 水2L

財宝（垂水第一工場）19,896本（国交省に依頼） 9時発送済

ミツウロコピバレッジ（岐阜養老工場）60,000（国交省に依頼）14時45分発送済

熊本県を震源とする地震の被害・対応状況について（第13報）

（4月18日（月）15：00時点）

平成28年4月18日
経済産業省

経済産業省関連の被害状況は、現時点で把握している限りでは以下のとおりとなります。

【電気】

●九州電力管内

- ・停電：あり
- －停電戸数：熊本県約26,000戸（18日（月）15:00時点）（阿蘇市、高森町、南阿蘇村、及びがけ崩れや家屋の損壊等により進入できず復旧困難な箇所を除いては、ほぼ復旧を完了。）【17日 約56,100戸】
- －復旧見込み：未定

・電源車の手配：電気事業連合会、電力広域的運営推進機関に対して、電源車等を応援派遣するよう要請。これによる全国の電力会社からの応援出動を含めて、九州電力は220台を確保。そのうち、137台を熊本県に集中配置。

・停電中の重要設備（役場、避難所、病院、福祉施設等）の有無：

- －病院：停電中の地域を特定し、病院の自家発用の燃料（軽油）を優先的に供給するよう、経済産業省から石油連盟、全石連に対して要請。燃料枯渇の危険があった熊本県内の5病院のうち、避難を行った病院等を除き、2病院に配送済み。
- －役場：発電用燃料で自家発を活用していた8自治体のうち、3自治体で既に電源車が配備、5自治体で通電していることが確認済み。
- －避難所：17日（日）23時現在、確認できているもので22箇所の避難所で電源車が必要とされているところ、21箇所の避難所で電源車が到着済みであることを確認。残っている1箇所の避難所については、九州電力に対して電源車の派遣を依頼済み。
- －福祉施設：熊本県内の社会福祉施設（54箇所）については、優先的に発電用燃料を供給すべき施設を3箇所洗い出し、優先的に供給するよう、経済産業省から石油連盟や全石連に対して要請。当該施設のうち、要請後、避難を行った施設等を除き、2施設に配送済み。

●中国電力管内

- ・停電：解消済み（17日（日）18:19時点）

●四国電力管内

- ・停電：約20戸（18日（月）13:00時点）

【ガス】

●西部ガス管内

- ・供給停止：あり（熊本市周辺）

- 停止戸数：105,000戸（18日（月）13:00時点）
- 停止中の重要設備（役場、避難所、病院、福祉施設等）の有無：確認中
- 復旧見込み：未定（※過去には、復旧までに1~2ヶ月程度を要した事例あり）
- 復旧状況：復旧作業は①閉栓、②導管安全確認・修繕、③開栓となる。

①閉栓：17日から開始し、20日に終了予定。

②導管安全確認・修繕：中圧導管の50%安全確認済み。

③開栓：中圧導管から直接供給している医療関係8施設（済生会熊本病院、熊本森都病院、武蔵丘病院、国立熊本医療センター、日赤病院熊本、熊本中央病院、地域医療センター、熊本大学病院）は供給再開済み。

- 設備被害状況：あり
- ガス製造設備：被害なし
- ガスホルダー：一部外部損傷があるが、機能に支障なし
- 高圧導管：被害なし
- 中圧導管：点検中
- その他：西部ガス熊本支社で被害あり（窓ガラス割れ、通信設備喪失等）

従業員は待避済み

- ・ガス会社等からの現地派遣：

日本ガス協会、ガス会社各社より、現地に計12名の職員を派遣。

加えて、大手ガス会社を中心に、1,800人を超える復旧応援隊を順次派遣予定。17日朝から、派遣開始済み（17日に約100人現地入り、18日に約1,000人現地に移動中）。

※熊本県内で供給している、西部ガスを除く4事業者（九州ガス、山鹿都市ガス、天草ガス、大牟田ガス）については、供給支障は発生していない。

●簡易ガス（九州全域）

- ・熊本県内全101団地のうち、14団地で供給停止。
- ・他県は被害情報無し。

●LPガス（九州全域）

（九州全域：2500事業者（うち熊本県434、大分県245））

- ・LPガス輸入基地：異常なし
- ・LPガス充填所：熊本県内にある41箇所の充填所のうち、停電のために充填不能であった熊本石油の2施設に関し、宇土充填所については、停電が解消し充填が可能となった。西区充填センターについては、地盤に亀裂が認められたため、現在停止中。余震の状況を見つつ18日の再開を検討。
- ・LPガス国家備蓄基地：異常なし
- ・LPガス一般消費者：漏えい火災等の被害情報なし（※なお、一般的に各家庭に軒下在庫一か月程度あり）
- ・LPガス販売事業者：熊本県内（434社）のうち1販売所（事務所等）が損壊

【石油】

●燃料の応援要請への対応

- ・石油備蓄法に基づく、「災害時石油供給連携計画」を発動。
- ・石油連盟において、共同供給オペレーションルームが既に運用開始。
- ・ガソリン、軽油、灯油は、県（災害対策本部）を窓口に関係情報を収集し、石油連盟において、元売各社と一体となって応援する体制を構築済み（当省に、直接問い合わせがあった場合は、県に情報を収集するとともに、場合によっては、直接石油連盟に対して要請。）
- ・石油連盟ホームページにて、上記の情報・連絡先を掲載済み。

●被災地の石油需要への対応

（全般）

- ・ガソリンについて、石油元売会社によるタンクローリーの増強投入を継続中。これにより一部の局地的な不足を除けば、品薄問題はほぼ解消。本日も引き続き、被災地SSからの発注に応じて出荷を継続中。
- ・道路輸送時間を短縮すべく、緊急供給要請に対応するタンクローリーについて警察車両による先導協力を実施中。

（局地的対応）

- ・停電中の阿蘇地区に配置した電源車への燃料供給体制について、本日早朝までに九州電力・石油連盟・全石商との調整を完了させ、①ミニローリーによる電源車への直接給油と②ドラム缶からの給油を併用する体制を構築、順次、供給実施中。
- ・車上生活者が増加しガソリンが不足していた益城町では、停電解消により町内のSSのうち4ヶ所で営業再開、その旨を被災者に情報提供中。

●石油（SS関係）

（SS）

ー熊本県

- ・全SS（計797）：現時点で約7割（589箇所）の稼働を確認
【17日 573箇所】
営業不可115
- ・うち中核SS（34）：稼働中32【17日 30】、営業不可2

※「中核SS」とは、自治体・自衛隊等緊急車両用優先給油を行うSS

- ・内閣府災害対策本部から経済産業省に対して、道路寸断等の情勢を踏まえ、緊急車両に対する中核SSによる優先・継続供給について要請あり。経済産業省から石油連盟に対して要請済み。
- ・今後、孤立地域などの支援に必要な緊急車両による燃料供給のロジスティックスについて、万全を期すよう、石油連盟に要請済み。

●石油コンビナート（製油所・油槽所）

- ・通常稼働中

【小売】

●コンビニエンスストア

(1) 熊本県内の状況 (※4/18 13:00 時点、カッコ内は前日の数値)

	合計	営業中	休止中
セブンイレブン	289	287 (286)	2 (3)
ローソン	141	135 (58)	6 (83)
ファミリーマート	163	123 (79)	40 (84)
合計	593	545 (423)	48 (170)
営業店舗の比率	91.9% (71.3%)		

(2) 営業再開・商品確保の状況

- ・ 4/18(13 時現在)は、91.9%の店舗が営業 (4/17 正午段階では 71.3%)。
- ・ 4/17 は、熊本県内で約 70 万食を供給。4/18 も、同程度の供給を予定。

<セブンイレブン>

- ・ 引き続き、他県向け飲食料品の全量を熊本県の店舗に回すよう手配(約 60 万食分/日)。熊本県内の惣菜工場は当面稼働できないが、福岡県等隣県の工場をフル稼働し、熊本県に搬送予定。
- ・ 4/18 の発注量は、4/17 と同様、通常の 3-4 倍程度。
- ・ 本社から、200 人を派遣中。

<ローソン>

- ・ 4/18 朝は 103 店舗が営業し、13 時現在は 135 店舗が営業 (朝から 32 店舗の増加)。
- ・ 通常の全店舗に供給する飲食料品 (約 6 万食分/日) は、確保済み。
- ・ 本日 (4/18) の発注量は、通常の最大 1.5 倍程度。
- ・ 本日 (4/18) から、80 人を現地に派遣予定。社長も現地入り。
- ・ 引き続き、道路情報を提供。(4/16~)

<ファミリーマート>

- ・ 4/18 には、123 店舗が営業 (4/17 から 44 店舗増加)。
- ・ 休止中の 40 店舗のうち 30 店舗は、近々 (2, 3 日程度) 営業再開できる見込み。残り 10 店舗は、道路状況や店舗周辺的环境により、長期休業の見込み。
- ・ 通常の全店舗に供給する飲食料品 (約 6.2 万食分/日) は、確保済み。
- ・ 本日 (4/18) の発注量は、通常の最大 1.5 倍程度。
- ・ 引き続き、道路情報を提供 (4/16~)。今後、高速道路の早期開通により、遠方から商品を融通できるようになることを期待。

●スーパーマーケット

(1) 熊本県内の状況 (主要各社) (※4/18 13:00 時点、カッコ内は前日の数値)

	合計	営業中	休止中
イオン	27	23 (13)	4 (14)
イズミ	7	4 (1)	3 (6)
サンリブ	20	15 (5)	5 (15)
西友	3	1 (0)	2 (3)
合計	57	43 (19)	14 (38)
営業店舗の比率	75.4% (33.3%)		

(2) 営業再開・商品確保の状況

- 駐車場を活用した販売を含め、4/18(13時現在)は75.4%の店舗が営業(4/17正午段階では33.3%)。
- 商品量については、例えば、イオンは、九州南北にある2大物流センター等を活用して、九州外も含め、隣県から飲食料品を供給。必要な商品量の確保に努力。

(3) イオンによる自治体への物資支援(支援要請への対応)

- ① 益城町：毛布500枚(4/15提供済)
- ② 大津町：パン1,285個(4/15提供済)
- ③ 熊本市：おにぎり4,000個、パン25,000個(4/15提供済)
毛布2万~3万枚、生理用品1,000パック、おむつ2,000パック、粉ミルク1,000ケース、トイレットペーパー2万ロール(4/177時に提供済)
- ④ 熊本県：水10万本、おにぎり・パン3万食(4/18夕方に現地到着予定)

【物資の調達状況】

※4/18（月）12:30時点

●現地から要請があったもの

受信時間	要請元	物資	数量	状況
4/16	熊本県	簡易マット	200	16日到着済。
4/16	熊本県	簡易マット	1,800	17日11時頃輸送開始（宇都宮発）、18日8時頃到着済。
4/16	熊本県	トイレットペーパー	20,000	16日到着済。
4/16	熊本県	便袋（凝固剤含む）	20,000	17日5時頃到着済。
4/16	熊本県	Tシャツ	1,000	17日11時半頃到着済。
4/16	熊本県	ビニールシート	300	100は17日14時半頃到着済。 残り200は15時頃輸送開始予定（滋賀発）。
4/16	熊本県	紙コップ	6,400	17日中に15時半頃輸送開始済（佐賀発）、17日16時半頃に到着済。
4/16	熊本県	簡易トイレ	4,000	1,289は17日16時頃輸送開始（千葉発）、18日19時頃到着予定。 2,750は消防庁により手配済。

●プッシュ型（現地からの要請を待たずに物資調達を行う方法）

受信時間	要請元	物資	数量	状況
4/16	現地本部	トイレットペーパー	21,000	18日13時半に輸送開始予定（大分発）、同日中に到着予定。
4/16	現地本部	便袋（凝固剤含む）	170,000	8万は17日13時半頃輸送開始（静岡発）、18日9時頃に到着・搬入中。残り9万は18日19時頃到着予定（東京発）。

【サプライチェーン（自動車）】

<トヨタ自動車>

- トヨタ自動車九州（福岡県宮若市等／完成車及び部品工場）は、地震の影響を受け、4/15（土）及び4/16（日）の稼働を停止。
- 4/17（日）、トヨタ自動車は、トヨタ自動車九州のみならず、4/18（月）から段階的に国内の完成車組立てラインの過半の稼働を停止することを発表。
- 4/25（月）以降の稼働再開は、4/20（水）の時点で判断。
- 生産台数への影響はトヨタ社内で精査中。

<ダイハツ工業>

- ダイハツ九州中津工場（完成車）及び久留米工場（エンジン）は、4/16（土）に地震により稼働を停止。
- その後の確認により、工場自体には地震の影響は無かったものの、サプライヤーからの部品の供給状況を踏まえ、4/18（月）から4/22（金）まで稼働停止を決定（4/17）。

<日産自動車>

- 日産自動車九州（福岡県苅田町（かんだまち）／完成車工場）は、4/16（土）に地震により稼働を停止。
- その後工場は復旧し、4/18（月）から稼働再開を決定（4/17）。

<本田技研工業>

- 本田技研工業熊本製作所（熊本県大津町（おおづまち）／二輪車完成車工場）は、4/14（木）夜から地震により稼働を停止。
- 設備の破損状況の確認に時間を要することなどを踏まえ、4/18（月）から4/22（金）までの間、稼働停止を決定。23日（土）以降の生産体制については、今後の状況をみて判断する（4/17）。

<三菱自動車>

- 三菱自動車水島製作所（岡山県倉敷市／完成車工場）は、4/18（月）夜間及び4/19（火）昼夜について稼働を停止。部品供給の影響により、生産再開の目途がたっていないため。
- 4/20（水）以降の稼働については、未定。

<アイシン九州>

- 自動車のドア部品やエンジン部品を製造するアイシン九州（熊本市）は、地震により4/15（金）より稼働を停止。
- 現在も余震が続いており、工場建屋内の被災状況が完全に確認しきれていない状況。また、仕入先のうち2社について再開の目処が立っていない。
- こうした状況のため、現時点では供給再開の目処が立っていない。特に一部のドア部品について国内シェア第1位であり、完成車工場の稼働停止への影響が大きい。

【中小企業】

○平成28年熊本県熊本地方の地震に係る災害に関して熊本県内全域に災害救助法が適用されたことを踏まえ、被災中小企業・小規模事業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の実施、セーフティネット保証4号（中小企業信用保険法第2条第5項第4号）の実施の決定、既往債務の返済条件緩和等の対応、小規模企業共済災害時貸付の適用の措置を講じた。また、窓口における親身な対応や資金の円滑な融通等を要請する通知文書を、中小企業庁及び財務省の連名で、日本政策金融公庫及び商工組合中央金庫に対して、中小企業庁名で全国信用保証協会連合会に対して発出。（4月15日）

○大分県の日本政策金融公庫の支店、商工中金の支店、大分県信用保証協会、大分県の各商工会議所、大分県商工会連合会、大分県中小企業団体中央会の相談窓口体制を整備。
商店街については、全国商店街振興組合連合会に整備。（4月18日）

○下請法上の留意点（Q&A）について、製造局等において所管団体へ周知を実施（4月15日）

○下請取引対策として、全国48か所の「下請かけこみ寺」に「特別相談窓口」を設置（4月18日）。

【その他】

- 防災連絡会議を設置（4月14日）
- 防災連絡会議を開催（4月15日）
- 緊急災害対策本部を設置（4月16日）
- 緊急災害対策本部会議（第1回）開催（4月16日6:00）
- 緊急災害対策本部会議（第2回）開催（4月16日10:30）
- 緊急災害対策本部会議（第3回）開催（4月16日17:30）
- リエゾン派遣：経済産業省から現地対策本部（熊本）に対して、当省リエゾン7名を派遣（一部は4月16日16:55到着）。

【連絡先】

経済産業省大臣官房総務課
藤井、下堀、加賀、平野、飯沼、高橋
電話 03-3501-1327
FAX 03-3501-1704

飲料水等の確保

18日14:00現在

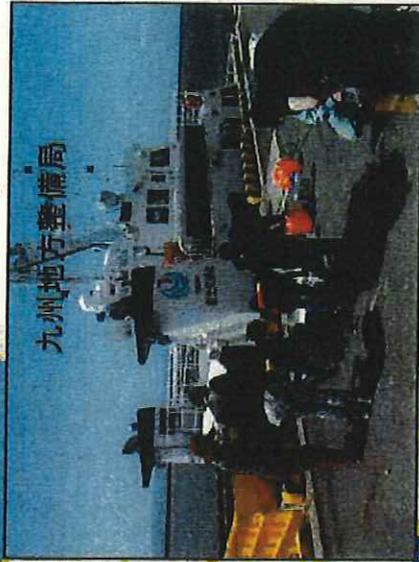
① 飲料水

- 熊本港の応急復旧等が早期に完了し、安全性が確認できたことから、早期に飲料水の提供を開始
- 海洋環境整備船2隻及び巡視船5隻により給水実施中。給水量(16日約7トン、17日約44.5トン、18日約50トン)



九州地方整備局

かいこう(熊本港)



九州地方整備局

かいぎ(熊本港)



海上保安庁

● 水供給拠点



海上保安庁

でじま(熊本港)

あまぎ(三角港)

※ 今後、9隻追加予定(港湾局6隻、海上保安庁3隻)

飲料水等の確保

② 食糧支援等

- 海上保安庁の巡視船・ヘリコプターにより、食糧支援、入浴提供、携帯充電を実施。
- 全国各地に配備している港湾局の船舶(大型浚渫兼油回収船等)及び海上保安庁の巡視船を熊本方面、大分方面へ追加派遣し、飲料水や食料などの支援物資を輸送。



平成28年熊本地震についての国土交通省の対応状況

国土交通省の主な対応状況

(1) 住環境

■二次的避難場所の確保

- ・「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）」に対して、九州全域における旅館・ホテルへの被災者の受入れを要請。
受入れ可能人数は、まず熊本県で1,500人程度の見込み。さらに、他県の宿泊施設についても、全旅連より、熊本県からの要請があれば、受け入れる用意があるとの回答を受けている。
- ・ホテルシップについては熊本県の意向を確認し民間事業者2社と調整中

■応急的な住まいの確保等

- ・被災建築物の応急危険度判定を熊本県において他県からの応援も受け17日より再開。
- ・公営住宅等の空き住戸の状況について各地方公共団体等において調査中
〔 公営住宅等の空き住戸数 平成28年4月17日現在判明分
 熊本県内：237戸 大分県内：209戸
 2県以外の九州各県合計： 1,776戸 ※建物の状態には未確認含む 〕
- ・不動産団体に対し、地方公共団体から依頼があった場合には、民間賃貸住宅の情報提供等に関して必要な協力を要請。
熊本県内の空室数 約1,500戸 ※建物の状態は未確認
- ・応急仮設住宅について、要請があり次第、速やかに対応できるよう（一社）プレハブ建築協会に対し準備を指示。

■飲料水等の確保

- ・海洋環境整備船 2 隻および巡視船※5 隻により、三角港、熊本港、八代港にて給水(飲料水) ※累計給水量 81 トン(18 日 13 時時点) 今後 9 隻追加予定
- ・巡視船 5 隻により食料支援、入浴・トイレ提供、携帯電話の充電等海上保安庁航空機により 17 日、生活物資を南阿蘇村へ搬送
- ・下水処理場については一部被害があるものの、処理機能は確保
熊本市において主要施設を結ぶ優先順位の高い下水管は異常なし
仮設トイレの汚泥は運搬や下水処理場での受入を含め自治体に要請

(2) 物流

<幹線物流>

- 大手物流事業者の参画の下に、プッシュ型の支援物資を搬入する体制(トラックのほか、鉄道、内航海運)を確保。

<フィーダー物流>

- 市町村の指定する場所への輸送についても、熊本県、物流事業者、自衛隊と連携して確保。

<人的支援>

- 物流事業者の専門家を非常災害対策本部、熊本県庁等に派遣するよう指示。

【物資搬入拠点】

- ・日本通運(鳥栖営業所、箱崎物流センター、東部物流センター)
- ・ヤマト運輸(ロジクロス福岡久山)

※上記のほか、福岡市中央卸売市場青果市場跡地も支援物資搬入拠点として稼働

○その他

- ・熊本県庁から内閣府非常災害対策本部に支援依頼のあった輸送について全日本トラック協会に支援を依頼
20 件(17 日 20 時現在) 主なもの 毛布、アルファ米、保存用パン等
- ・熊本県・熊本市から支援依頼のあった輸送について同県トラック協会が支援を実施
24 件(17 日 18 時現在) 主なもの 毛布、アルファ米、飲料水等
- ・トラック輸送のほか、鉄道・内航海運の利用について調整中。

(3) 交通

■道路

○高速自動車道の新たな開通状況(17日14:30分以降)

大分自動車道(日田(ひた)IC ~ 玖珠(くす)IC) 24km(17日21:00)

(別府(べっふ)IC ~ 大分(おおいた)IC) 15km(17日21:00)

宇佐別府道路大分自動車道

(安心院(あじむ)IC ~ 日出(ひじ)IC) 22km(17日15:00)

○通行止め状況(6時時点)

【高速自動車道】(3路線・107km 4/17 21時:39km解除)※復旧工事着手済

九州自動車道 植木(うえき)IC~八代(やつしろ)IC

※御船(みふね)IC~松橋(まつばせ)IC間 跨道橋が落橋(撤去作業中)

※益城(ましき)熊本空港IC~御船(みふね)IC 法面の崩落や橋梁部ジョイントの

段差(現地調査・施工方法 検討中)

大分自動車道 玖珠(くす)IC~別府(べっふ)IC等

※湯布院(ゆふいん)IC~日出(ひじ)JCT 土砂崩落(撤去作業中)

九州中央自動車道 嘉島(かしま)JCT~小池高山(おいけたかやま)IC

【国道・県道・市町村道】(大規模被災箇所)

阿蘇大橋地区斜面崩壊(国道57号・国道325号)

※専門家の意見を聴きながら、土砂撤去用進入路の確保等のため、現地作業に着手予定
東海大学周辺では複数回通行止め。

※17日にTEC-FORCEが応急対策を実施し、車両での通行ルートを確認

俵山トンネル(2km) 熊本県道西原村熊本高森線(覆工コンクリート崩落)

※県の要請を受け、専門家を派遣

■鉄道関係

○新たな開通状況(17日14:30分以降)

・JR九州 鹿児島線 荒尾駅(あらお)~熊本駅 (18日13:20)

※一旦、運転を再開したが、現在、運転見合わせ中

・くま川鉄道 湯前(ゆのまえ)線 全線運転再開(17日15:21)

・熊本電気鉄道 菊池(きくち)線 一部運転再開(18日始発)

藤崎(ふじさき)線 全線運転再開(18日始発)

○運転休止

・新幹線 九州新幹線（全線運転休止）

※熊本駅～熊本車両基地間（本線上）回送列車1本 全車脱線

※新大牟田～新水俣間施設点検実施中

・在来線 5事業者12路線（運転休止）

・JR九州 4路線※ ・熊本市交通局 全線（5路線）

・肥薩おれんじ鉄道 一部（1路線） ・熊本電気鉄道 一部（1路線）

・南阿蘇鉄道 全線（1路線）

※JR豊肥（ほうひ）線 赤水（あかみず）駅付近の踏切での
回送列車脱線事故（4月17日13時29分 道路支障解消）

■空港関係

・熊本空港

救援業務等に対応するため24時間利用可能（24日まで）

災害派遣医療チーム(DMAT)や救援物資を輸送(自衛隊、JAL 貨物臨時便)

民間航空機定期便は18日は全て欠航

・大分空港 救援業務に対応するため、24時間利用可能(19日まで)

・九州の他の空港 通常どおり運用中

航空会社が福岡～鹿児島間等に臨時便を運航

(4) 土砂災害

○土砂災害71件（ヘリ調査等により家屋や公共施設等に被害が認められた箇所）

○取組状況と今後の予定

・土砂災害専門家による現地調査及び家屋被害発生箇所や重要交通施設の復旧に対する技術的助言等 阿蘇大橋地区(17日)、火の鳥温泉地区(18日)、

高野台地区(18日)、立野川(19日予定)、山王谷川(19日予定)

・「土砂災害現地調査チーム」による危険箇所点検

震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所

約1100箇所に対し、テックフォース7班により点検を実施(18日～)

・土砂災害による二次災害防止のための注意喚起と土砂災害警戒情報等の適切な提供

市町村支援等

○TEC-FORCE等※ 260名 (本日の派遣予定) ※17日240名派遣

・関東18、北陸13、中部13、近畿24、中国21、四国16、九州117の各地方整備局及び国総研・土木研究所等32、地理院6から派遣 ※国総研・土木研究所等の専門家含む

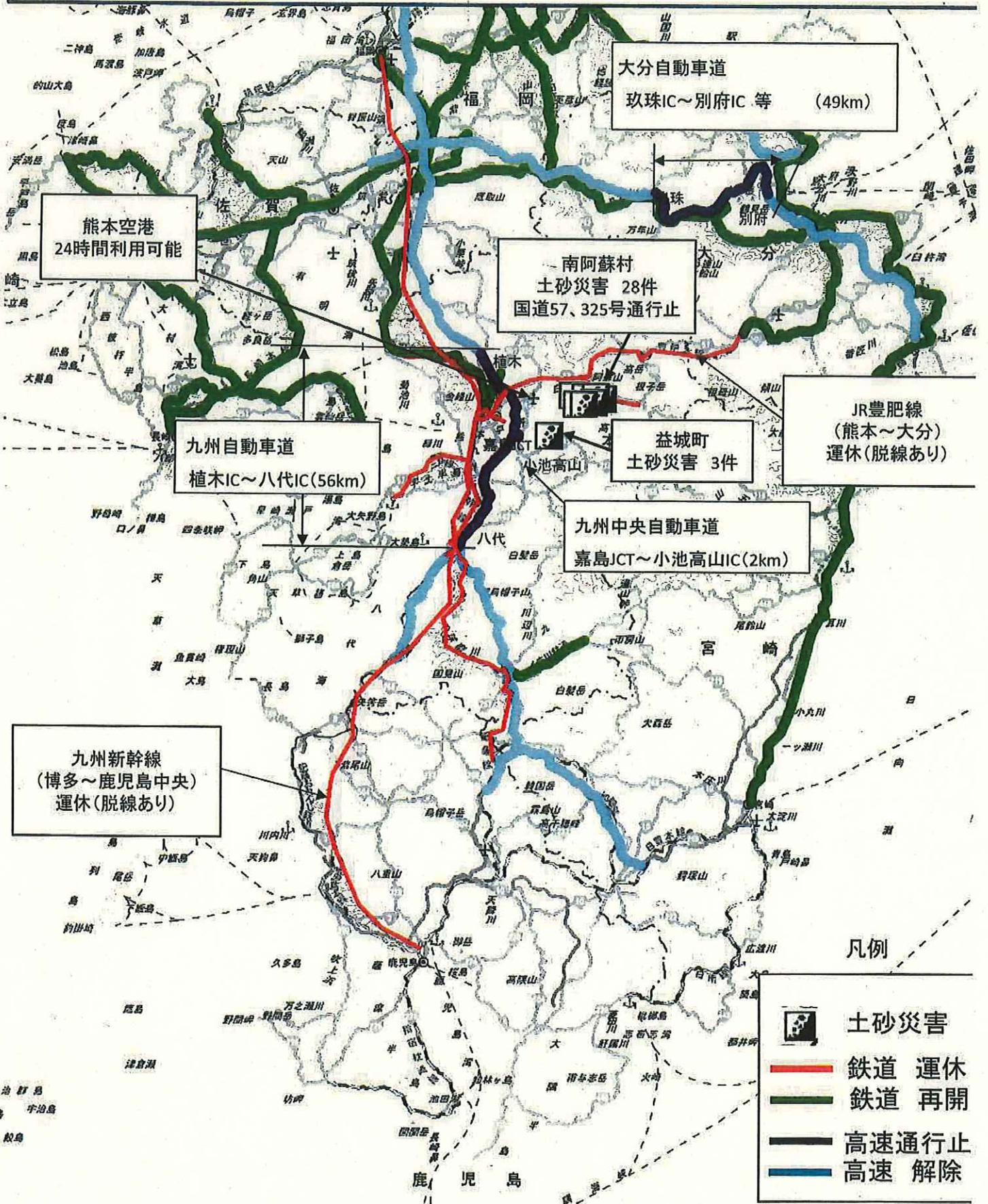
→橋梁等点検調査、道路被災等調査、UAVによる緊急撮影を実施

○リエゾン 38名 (本日の派遣予定)

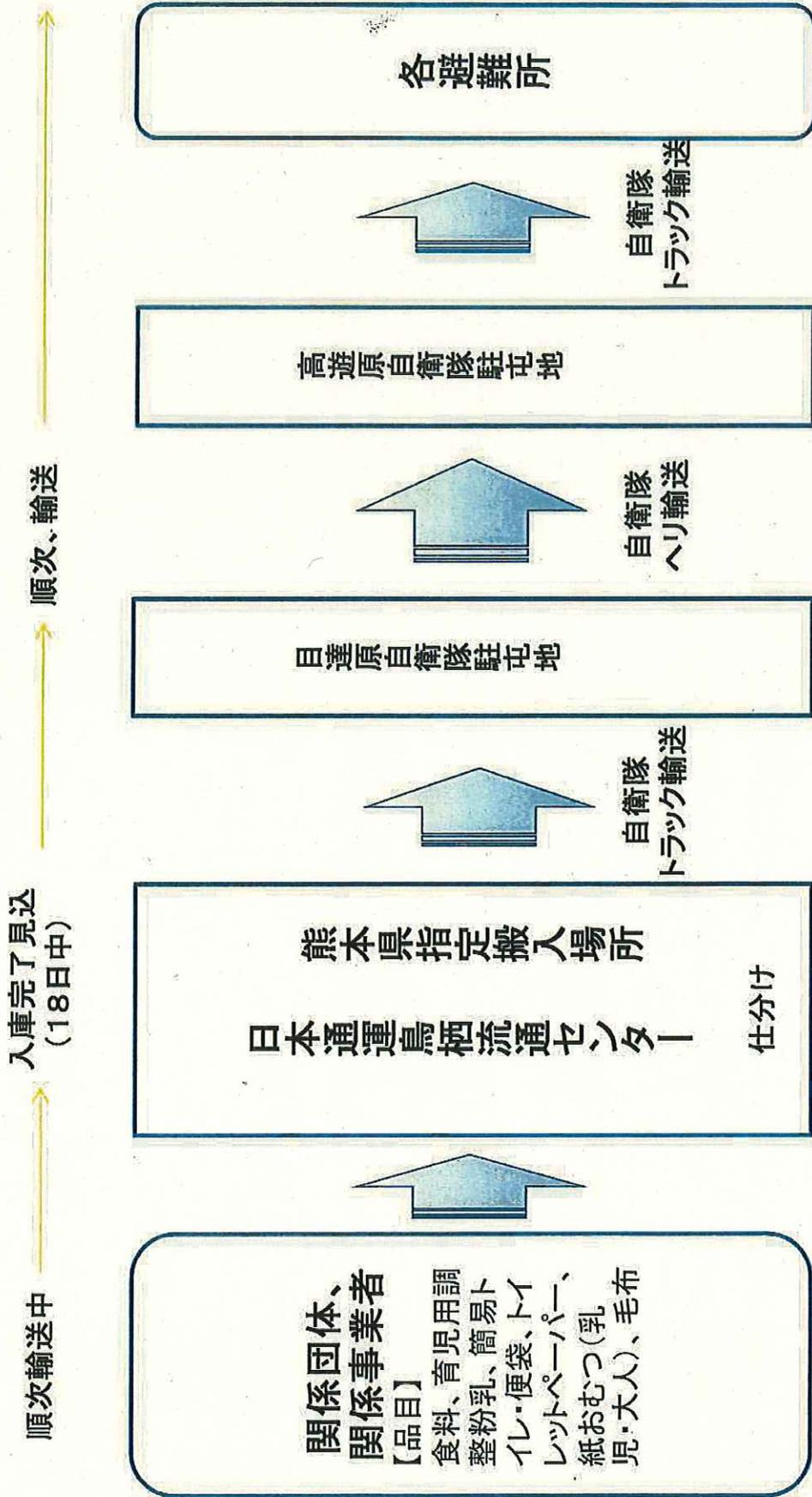
・熊本県庁3、熊本県現地対策本部2、熊本市2、益城町4、御船町2、嘉島町2、西原村2、南阿蘇村1、菊池市2、宇土市2、大津町1、宇城市1、合志市1、大分県庁3、阿蘇市2、高森町2、産山村2、菊陽町1、日田市2、JR九州1

○照明車、対策本部車、衛星通信車等 74台 (九州、関東、中部、近畿、中国の地整より派遣)

熊本地方を震源とする地震について(国土交通省関連)
4月18日15時00分現在



各避難所までの物資輸送イメージ



市町村到着物資状況（18日11時現在）

・食料	:	40,782食	
（うちパン	:	27,432食	）
おにぎり	:	11,000食	
・米	:	4,500kg	
・水	:	40,000本	
・粉ミルク	:	1,120kg	
・毛布	:	74,030枚	
・紙おむつ乳児	:	22,890枚	
・紙おむつ大人	:	12,832枚	
・生理用品	:	41,752枚	
・便袋	:	20,000枚	
・トイレットペーパー	:	20,000個	
・Tシャツ	:	500枚	
・ビニールシート	:	600枚	
・簡易マット	:	206枚	

注）日本通運鳥栖営業支店の配送計画（17日22時時点）に基づき算出

市町村到着物資状況（市町村別内訳）

- ・アルファ米（食）

熊本市 1,000

- ・パン・マフィン（食）

南小国町 3,000、益城町 432、熊本市 24,000

計 27,432

- ・おにぎり（食）

宇城市 5,000、宇土市 1,000、熊本市 5,000

- ・その他食料（カロリーメイトなど）（箱）

山都町 27

- ・米（kg）

南阿蘇村 4,500

- ・水（本）

熊本市 40,000

- ・毛布（枚）

南小国 500、阿蘇市 3,760、熊本市 50,570、菊陽町 3,260、甲佐町 500、

山都町 2,000、益城町 2,000、御船町 1,000、嘉島町 900、合志市 3,000、

大津町 3,100、山鹿市 300、菊池市 1,200、小国町 1,740、美里町 200

計 74,030

- ・便袋（枚）

菊池市 1,200、嘉島町 1,000、熊本市 17,800

計 20,000

・紙おむつ (大人) (枚)

嘉島町 200、小国町 200、南小国町 100、熊本市 12,332

計 12,832

・紙おむつ (乳児) (枚)

嘉島町 200、小国町 100、南小国町 100、熊本市 22,490

計 22,890

・粉ミルク (kg)

甲佐町 1,120

・生理用品 (枚)

小国町 1,000、南小国町 300、熊本市 40,452

計 41,752

・トイレットペーパー (個)

南小国町 100、熊本市、19,900

計 20,000

・シート (枚)

嘉島 100、小国町 100、南小国町 100、熊本市 300

計 600

・マット (枚)

南小国町 206

・下着 (枚)

熊本市 500

注) 日本通運鳥栖営業支店の配送計画 (17日 22時時点) に基づき算出

18日物資配送予定

・食料 : 365,000食

(うち パン : 150,000食
カップ麺 : 154,000食
おにぎり等 : 51,000食
パックご飯 : 10,000食)

・水 : 72,000本

・毛布 : 9,650枚

・簡易トイレ : 10,039個

・便袋 : 170,000枚

・トイレットペーパー : 21,000ロール

・簡易マット : 2,000枚